

緑の風 NEWS



JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2025年 6月 13日 No.3

会津若松支部から“感謝状”をいただきました。

「抵抗とヒューマニズム」の精神で、人と人とのつながりと
仲間を思いやり助け合う気持ちを忘れずにいこう！

2025年6月11日

J R 東労組 中央本部 執行委員会の皆様

感謝状

拝啓 緑もゆる光が只見川に眩しく映る今日この頃、J R 東労組中央本部の皆様におかれましては、ますますご活躍のことと拝察いたします。

さて、今冬の会津地方を中心とした豪雪の際には度はお心のこもったお見舞いをお送りいただきまして、誠にありがとうございました。

会津若松市では2月5日からの降雪で観測史上最高積雪を更新しました。一般道路では除雪が追いつかず、鉄道を含めた交通機関機能が麻痺し、一時は物流も滞りました。J R 東労組会津若松支部事務所も窓ガラスの破損があり、組合員・家族においては家屋や車などに多少の被災がありましたが幸いにも大きな被害には至りませんでした。

職場においては会津管内の鉄道が10日以上完全にストップするなか、乗務員の勤務を変形日勤に指定しなおし、「業務指示」を発動して駅や設備の除雪作業に就かせました。この時の強権的な勤務指定変更と通勤問題、安全教育や装備が伴わないなか、吹雪、極寒での除雪作業など、さまざまな問題が発生しています。

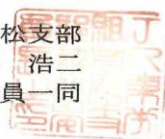
この際には組合の信頼できる仲間と相談し情報共有できること、会社に意見できること、各地から寄せられる支援物資は組合員に大きな勇気となり、あいづ統括センター分会で春闘交渉期間中に1名の再加入組織拡大を実現しています。

現在福島県では来年のディスティネーションキャンペーンに向けて、五能線で活躍するリポートしらかみ樞が只見線に初めて乗り入れました。地元只見町の小学生が企画し、私たちも誘致の署名活動に取り組んだ成果が実現し、地方に賑わいと笑顔をもたらしています。地方ローカル線においては厳しい情勢のなか、会津地区とりわけ只見線が鉄道を活かした地方創世の旗印となれるよう、今後も沿線の皆様との関係づくり、更なる組織強化拡大にむけて取り組んでいきます。

まずは略儀ながら書中をもって御礼かたがたご挨拶申し上げます。

敬具

J R 東労組 会津若松支部
執行委員長 佐藤 浩二
組合員一同



感謝状ありがとうございました！

これからも、仲間と共に、仲間を守り、安全で安心して働ける職場をつくり出して
いきましょう！「職場からの挑戦」で共に頑張っていきましょう！